

## ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

### 1. 基本情報

ふりがな	たかはしかずお			
氏名	高橋 一夫			
所属	近畿大学			
役職	経営学部 教授			
活動エリア	全国			
連絡先	住所	〒	577-8502 東大阪市小若江3-4-1 近畿大学経営学部	
	電話番号	06-6721-2332		
	メールアドレス	k_takahashi@bus.kindai.ac.jp		
キャッチコピー	住んでよし、訪れてよし、「稼いでよし」のまちづくり			
自己PR	<p>デスティネーション(観光地)・マーケティング、観光まちづくり、地域ブランドの構築のテーマで、各地のハンズオン事業に関わってきました。実務経験と理論に基づき、なぜ上手いのか、いかないのかを分かりやすく説明しながら指導します。これまで築いてきた人たちのネットワークも活かし、私だけではノウハウやスキルが不足するようなことがあれば、必要な人材を揃えて、観光による地域活性化の役に立てればと思っています。</p> <p>また、DMOの理事長も兼職していますので、DMO成果のあげ方、観光行政とDMOが無駄なく仕事をして効率的・効果的に観光振興を行えなうにはどうするのか、観光におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)の実践はどうしたらよいか、など観光まちづくりの尽きない悩みに答えていきます。</p> <p>特に、成果が上がらなかつた小規模DMOのマネジメント方式を変えたことで、成果を出せる組織に生まれ変わらせることができました。</p> <p>実務資格として、総合旅行業務取扱管理者、イベント業務取扱管理士1級を持っていますので、MICEの誘致・受け入れ実務についても応えていけると思います。</p>			
関連ホームページ	名称	近畿大学		アドレス
				<a href="https://www.kindai.ac.jp/business/research-and-education/teachers/introduce/takahashi-kazuo-e43.html">https://www.kindai.ac.jp/business/research-and-education/teachers/introduce/takahashi-kazuo-e43.html</a>

### 2. 略歴・受賞歴

略歴・受賞歴	<p>【経歴】名古屋出身 大阪府立大学大学院経済学研究科修了。専門は観光地(デスティネーション)マーケティング、地域ブランド、DMO。 ◆1983年JTB入社。イベント・コンベンション営業部長、コミュニケーション事業部長を歴任。在職中は2001年東アジア競技大会招致概要計画書の策定、2002年ライオンズクラブ国際大会大阪大会および2004年ロータリークラブ国際大会大阪大会の招致、2008年大阪オリンピックIOC評価委員会プレゼンテーションなど主に大規模イベント・コンベンション事業に従事。 ◆2006年JTBを退社後、T&amp;T(株)取締役 ◆2007年流通科学大学サービス産業学部教授(～2012年) ◆2012年4月より現職 ◆2020年(一社)東大阪ツーリズム振興機構(観光庁登録DMO)の理事長を兼職 ◆2021年芸術文化観光専門職大学客員教授(兼職)</p>
	<p>【観光、地域ブランドに関する各省庁・自治体アドバイザー】 ◆ふるさと財団「地域再生マネージャー」(旧藤原町・日光市、唐津市、倉敷市、七尾市、立山町、三好市)、「まちなか再生事業」(泉佐野市) ◆総務省 地域力創造アドバイザー(地域人材ネット登録) ◆東京都「観光アドバイザー」 ◆(一財)電源地域振興センター「観光現地指導アドバイザー」「コンサルティング強化事業アドバイザー」 ◆関西経済同友会「スポーツコミッション関西」幹事の際、「ワールドマスターズゲームズ関西2027」の誘致をおこなう。現在、ワールドマスターズゲームズ関西組織委員会評議員 ◆観光庁「広域周遊観光促進」アドバイザー ◆紀陽銀行、広島銀行などの地域再生事業アドバイザー など</p>
	<p>【受賞歴】 ◆「観桜期の吉野山における交通需要マネジメント」により(一社)日本イベント産業振興会の2006年度日本イベント大賞特別賞を受賞 ◆『CSV観光ビジネス-地域とともに価値をつくる』2014年刊(2015年度日本観光研究学会第9回「学会賞観光著作賞(一般)」受賞) ◆『DMO-観光地経営のイノベーション』2017年刊(2017年度日本観光研究学会第11回「学会賞観光著作賞(一般)」受賞)</p>

### 3. 取組分野

● 観光	(令和7年度からの登録DMOの基準見直しに伴う事業推進のコンサルティング、観光地マーケティングの実践、観光地のDX推進、観光行政とDMOの機能の見直し・整理、観光人材の育成)など、地域の観光振興全般)
移住・定住・関係人口	( )
農林水産業	( )
起業支援	( )
まちなか再生	( )
集落再生	( )
環境	( )
● その他	( 地域ブランドの構築、MICE誘致 )

#### 4. ふるさと財団での実績

<b>外部専門家 (活用助成)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆2016年度 和歌山県橋本市 「地域連携DMOの立上げによる地方創生推進事業」</li> <li>◆2015年度 和歌山県橋本市 「広域観光ビジネス共同体(DMO)の設置による地域イノベーション推進事業」</li> <li>◆2013年度～14年度 徳島県三好市 「六次産業化推進事業 三好ブランドの構築に向けて」</li> <li>◆2011年度～12年度 富山県立山町 「清流と雪の大谷・地域ブランド構築」</li> <li>◆2009年度 石川県七尾市 「和倉まちなか再生と食を活用したコミュニティビジネス創出」</li> <li>◆2006年度～08年度 岡山県倉敷市 「倉敷ブランド育成事業」</li> <li>◆2005年度～06年度 佐賀県唐津市 「着地型旅行事業の立ち上げ育成事業」</li> <li>◆2004年度～06年度 栃木県日光市(旧藤原町) 「鬼怒川・川治温泉『自分らしくなれる町』実現に向けての再生計画」</li> </ul>
-------------------------	--

#### 5. 取組内容・実績

<b>取組内容・実績</b>	<p>【取組事例①】</p> <p>(1)事業名 : 「世界に開かれたKUMANOをめざして」 ～外国人向けATA-Destination Management Companyの設立</p> <p>(2)対象地 : 和歌山県 田辺市</p> <p>(3)事業目的: 訪日外国人誘致を進めるためのプラットフォームとなる田辺市熊野ツーリズムビューローの法人化とDMO事業部の立ち上げ支援</p> <p>(4)事業内容: 欧米を中心とした外国人をターゲットとした受け入れ態勢(世界遺産を地域再生に積極的に活用し、世界に開かれたホスピタリティ溢れる観光地とするため、外国人旅行者を主眼に熊野地域全体をカバーする旅行商品を開発し、海外からの予約・決済システムやアテンド体制などを本市から発信する着地型旅行事業「DMC」)を設立し、新たな観光産業を創出することで、地域住民と来訪者がふれあう機会(交流人口)を増やし、お年寄りから子供まで地域全体が元気になる地域づくりを推進する</p> <p>(5)事業による成果: 2023年度に35,000人泊(うちインバンド27,000人泊)の取り扱いに至る。DMO業務としてのプロモーション事業委託も含め、黒字化しており、地域の観光振興に大きな役割を果たしている。</p> <p>* 関わり: 開業にあての事業計画の策定と宿泊システム構築のための基本計画策定。事業開始後は外部理事として関わっている</p> <p>【取組事例②】</p> <p>(1)事業名 : DMOへのマネジメント・コンサインメントの導入</p> <p>(2)対象地 : 大阪府 東大阪市</p> <p>(3)事業目的: 成果を出し切れないDMOに対し、KPI、KGIを達成できる組織にするために、組織マネジメントのあり方を1から見直す</p> <p>(4)事業内容: 従来の観光地とはちがう地域の小規模DMOにおいて、効果的・効率的に事業を推進するため、事業の企画管理と事業推進を分離しておこなう組織マネジメントに切り替える。現在は事業推進を大手広告代理店に定めている。</p> <p>(5)事業による成果: 初年度はKPIを3か月で達成し、2年目からKGIにコミットしながらスポーツツーリズム、ものづくり観光、下町・文化観光を柱に、事業を展開している。</p> <p>* 関わり: 当初の観光振興計画、DMO事業計画に携わる。DMO開始5年目より理事長に就任し、事業の企画管理をおこなっている。</p> <p>【取組事例③】</p> <p>(1)事業名 : 高幡もみぢ灯路の企画・推進</p> <p>(2)対象地 : 東京都 日野市</p> <p>(3)事業目的: 高幡不動の秋の大祭の賑わいを周辺の商店街に及ぼすための集客事業</p> <p>(4)事業内容: 商店街前の道路を警察調整のもと封鎖し、上記の目的を達成するため、街路灯を消し商店の外へ漏れる明かりをなくすことで、揺れ動くろうそくの灯のみで駅から高幡不動への道をつくる。人の流れが商店街と高幡不動を結ぶ。</p> <p>(5)事業による成果: 商店街に立ち寄る参拝客が増え、消費につながる事が確認できたことで、今もイベントが維持・継続されている。</p> <p>* 関わり: イベントの企画、必要な備品の手当て</p> <p>【取組事例④】</p> <p>(1)事業名 : 三好ブランドの構築に向けて</p> <p>(2)対象地 : 徳島県 三好市</p> <p>(3)事業目的: はれひめ、山茶など量は取れないが美味しく、ストーリー性がある特産品のブランド価値をあげていく</p> <p>(4)事業内容: 三好市には様々な地域資源が存在するものの、1次産業においては高齢化や狭隘な山間部の土地柄において、あるいは2次産業においては経営規模の点から商品の数量が期待できない。また、生活改善グループなどによるコミュニティビジネスにおいては、地域住民の生きがいづくりや所得向上に寄与することも求められている。この課題を解決し、三好市の特産品が価格競争から脱却し収益性を向上させるために、地域ブランドの手法を導入し評価を高めることとした。</p> <p>(5)事業による成果: はれひめ・みかんをオレンジをかけ合わせ、みかんのように皮が向きやすくオレンジのように薫り高く糖度が高いはれひめは、給水を制限して育てるため、裏年がでる。裏年の収穫物の販売を進めていくため、神戸スイーツのオレンジピールなどで取り扱ってもらうことで、収益を高めることとした。 山茶: 日本からの在来種である山茶は、甘みがあるものの、育てやすいやぶきた種が主な取り扱いとなっていた。そこで、日本茶のコンクールに出品し、キロ当たりの単価を高めることで収益を高めることとした。 この2種類のブランド価値を高めることで、少量でも収益力があるという理解を農家に伝え、扱い農家を増やしていくことになった。</p> <p>* 関わり: プロジェクト全般のプロデュース作業</p> <p>※上記以外の取組内容・実績</p> <p>【観光振興関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆DMOの立ち上げ、事業計画の策定 東大阪ツーリズム振興機構、せとうちDMO、高野山麓ツーリズムビューローなど</li> <li>◆観光振興計画の策定 町田市、滋賀県草津市、東大阪市、広島県等の観光振興計画、埼玉物産観光協会等のDMO戦略の策定支援など</li> <li>◆着地型の体験プログラムの構築 神戸市、唐津市、東大阪市、津山市など</li> <li>◆観光行政のあり方の見直し(DMO、観光協会との役割の見直しを通じた組織整理など) 広島県、神戸市、東大阪市など</li> <li>◆観光人材育成のためのプログラムの構築 経済産業省産学連携サービス経営人材育成事業の受託</li> <li>◆観光人材研修 東北自治研修所、全国市町村国際文化研修所など各地で実施</li> <li>◆季節型観光地の交通渋滞マネジメント 奈良県吉野山(観桜期の渋滞解消)</li> <li>【地域ブランド構築】</li> <li>◆富山県立山町(観光地ブランド) 岡山県倉敷市(地域ブランドの認定プロセスの構築)など</li> <li>【地方銀行の破綻に伴う観光再生】</li> <li>◆栃木県藤原町(足利銀行国有化に伴う鬼怒川・川治温泉再生事業の実践)</li> <li>【大規模イベント誘致】</li> <li>◆2027年ワールドマスターズゲームズ関西誘致概要計画書の取りまとめ、コーポレートゲームズ誘致(2013年～19年東京豊洲、2018年大阪長居で実施。2025年花園ラグビー場(予定))など</li> </ul>
----------------	--